

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和7年度 第3回豊島区DX推進本部
事務局(担当課)		政策経営部情報政策課
開催日時		令和8年3月18日(水) 9:00～9:45
開催場所		庁議室(本庁舎5階)
議 題		<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 DX推進計画の改定について 2 豊島区情報セキュリティポリシーの改定について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報セキュリティ内部監査報告及び次年度の監査計画について 2 令和8年度ICT研修実施計画について 3 情報化推進員の見直しとDXアンバサダーの創設について 4 生成AI利活用ガイドラインの改定(案)について
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置付けられる会議であるため
	会議録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置づけられる内容を含むため
出席者	部 員	副区長(本部長)、政策経営部長(副本部長)、CIO補佐官、総務部長、区民部長、福祉部長、子ども家庭部長、企画課長、行政経営課長、情報政策課長
	事務局	行政経営課、情報政策課管理グループ係長、同システム第一グループ係長、同システム第二グループ係長、同DX推進グループ係長、同情報システム標準化グループ係長

本部長：令和7年度第3回DX推進本部を開催する。

協議事項（1）DX推進計画の改定について

〔事務局：「【資料 1-1】豊島区DX推進計画（概要版）」、「【資料 1-2】豊島区DX推進計画（2026-2029）」、「【資料 1-3】豊島区DX推進計画（2026-2029）の策定及び計画案に係るパブリックコメントの実施結果について」を説明〕

要旨：前DX推進計画は2022年から2025年の4年を期間としていた。来年度以降の計画も、2026年から2029年の4年を期間としており、今年度一年かけて策定してきた。背景として、1点目は「デジタル技術の急速な進化」、2点目は「住民ニーズの多様化」、3点目は「労働力人口の減少」への対応を含め検討を進めた。新しい計画の基本理念は、基本計画を踏襲しつつ、「すべての人がつながるスマートでやさしいデジタル社会」を掲げている。計画は、区民サービスの向上と庁内業務の効率化の2本を柱に、10年後を見据えながら直近4年で何ができるかを具体化している。例えばポケット行政や、各分野のスマート化、窓口DXなど、各課の意見を集めながら検討した。パブリックコメントは計9件いただき、主な意見としては、「DXを進めることはよいがセキュリティの面ではどうなのか」、「窓口で何度も同じ書類を提出しなければならない」、「スマホが苦手な方がいることを前提とした計画にしてほしい」という内容だった。

CIO 補佐官：本計画では課題をあまり書いていない。あくまでも目指すべき姿があって、そこに対してやっていくべきことを前面に押し出している。他の自治体では課題が主だが、時代の流れが速いのでそのような構成にした。

本部長：パブリックコメントは声が少なかったようだが。

部員：前計画のパブリックコメントは13件。今回は9件だった。ただ、1件の中に複数のご意見を頂くものも多かった。

部員：自分たちの仕事にどう落とし込むかは考えていかなければならない。どのように所管課が業務効率に繋げていくかが課題である。例えば保育のデジタル化など、部分的に進んでいるが、進んでいないものもある。

本部長：子ども関係はよく区民からも要望が届いている。

部員：子育て世帯ではデジタル化を求める方も多く、DX施策のターゲットとも一致しているが、一方で全てをデジタルに統一することもできず、アナログとダブルスタンダードになってしまうことが課題である。

本部長：ダブルスタンダードといえば、特に福祉部はそうだと考える。

部員：90 歳代の方でもスマートフォンを使っている方がいるので、ダブルスタンダードでも進めていく必要があると考える。同時に、介護人材の労働環境等の改善も図っていききたい。また、障害福祉や高齢者福祉は業務量も多いので、デジタル化を検討したい。

部員：時代の流れが速く、合わせていくことは難しいと感じている。窓口 DX は少しずつ始めている。いきなり変えることは難しいと思うが、これからも協力して進めていきたい。

本部長：庁舎内についてはどうか。

部員：職員の負担をどれだけ減らし、新しい業務に着手できるか、に注目している。よく業者から他自治体では何千時間削減、と聞く。指標とまではいかずとも、これくらいの削減は目指せる、というのがあるとやりがいに繋がる。あと、別の会議でも出たが、区の SNS 登録をどうやって増やせるか。区としてどんな仕掛けができるのか、転入時の案内なども含めて検討が必要との意見が上がっていた。

本部長：本計画は具体的な実施計画ではないが、これをもとに各セクションで取り組むとき、進捗はどのようにするのか。

部員：進捗管理というより伴走支援を行っていききたい。進捗は、毎年、区議会の特別委員会で報告している。

本部長：熱心さにより差がついてしまうのはよろしくない。いかに統一性を保つかが重要である。区民部関係はどうか。

部員：「(1) 無人化」の実証実験を踏まえ、3 階 4 階で展開を予定。また「(2) 多言語翻訳」、「(3) 窓口で申請者が届け出た情報の他課共有」についても取り組んでいく。

CIO 補佐官：(1) と (3) の取組みは同じシステムでの実現が想定される。(3) が主たる目標となるが、(1) から始める必要がある。

本部長：会計事務の見直しも重要であると考えている。

部員：現在、会計課長からも相談を受けて検討を始めている。会計課にも DX グループが設置される。

本部長：引き続き力を入れてほしい。

部員：事業の効率化などを検討する場合、職員だと、今「紙」でやっているものをそのままデジタルにするという考えしか出てこない。これらを抜本的に見直す、といった考えができないと本当のDXにならない。この点が計画の4年間で一番問われる部分だと思う。

CIO 補佐官：今の業務を守ろうとする空気がある。DXの中核人材を育て、BPRの教育もしながら進めていきたい。

本部長：今の財務会計システムなども紙ベースの事務処理を前提に構築されており、効率化の面で課題がある。外部の方からの意見も入れながら検討していかないといけない。

—議題について案のとおり承認—

協議事項 (2) 情報セキュリティポリシー改定について

〔事務局：「【資料2-1】豊島区情報セキュリティポリシーの改定について」を説明〕

要旨：部分改定を行う。情報セキュリティポリシーの体系は三層になっており、そのうち上位二層である「基本方針」および「対策基準」を豊島区情報セキュリティポリシーとして定めている。改定のポイントは、「(1) サイバーセキュリティを確保するための方針としての位置付け」、「(2) 対象範囲の拡大」、「(3) 情報資産分類Ⅰの管理制限の緩和」である。(2)では行政委員会も対象範囲に加わることになり、本区では教育委員会や監査委員、選挙管理委員会を含めることになった。豊島区議会については、独自でポリシーを定める予定。(3)についてはオンライン申請の普及に伴い運用に支障が出てきている部分を見直すもの。

部員：(3) はやはり便利になるがリスクについても留意が必要である。職員の個人情報取り扱いの意識を高めなければならない。Eラーニングもやっているが引き続き意識向上が課題である。

本部長：区民相談課が所管になるのか。各課にどう理解させていくかが重要である。

部員：運用は5月頃からを予定している。

CIO 補佐官：個人情報の扱い方をより丁寧に庁内に周知してほしいと思っている。

部員：セキュリティリスクについて引き続きしっかりと管理が必要である。一つ流出が起きると、組織への影響は計り知れない。今年度より内部統制も整備しているので、職員周知をしっかりとしてほしい。

本部長：としま未来会議などでは説明しないのか。

部員：としま未来会議でも説明する。

CIO 補佐官：情報セキュリティは事故が発生した場合事が大きくなる。これは紙ベースの業務でも同じであり、書類紛失のリスクも存在するため、クリアデスクなども進めていただきたい。

—議題について案のとおり承認—

報告（1）情報セキュリティ内部監査報告及び次年度の監査計画について

事務局：書面による自己点検、現場監査、出先施設のパトロールを実施した。成果として不適合の割合は減少し、区全体のセキュリティレベルの向上が見られた。次年度以降、各課の実情に基づいてセキュリティに関するルールが守られているかをチェックしていく。

報告（2）令和8年度 ICT 研修実施計画について

事務局：人材育成担当でも研修実施計画を定めているが、ICTについて別途定めるものである。基本的にはeラーニングを中心に展開する。来年度からの改定は、DX アンバサダー養成のため、5～6 か月に対面研修を予定している。

CIO 補佐官：研修の中にシステム調達についてのノウハウがない。国はデフォルトでやっているものでもあり、実施について検討したい。

報告（3）情報化推進員の見直しと DX アンバサダーの創設について

事務局：各部の庶務担当課長には情報共有して意見収集中。情報化推進員は現在の状況が創設当初の役割とも乖離してきている。そこで、情報化推進員の廃止と併せて DX アンバサダー制度を新設したい。DX 化には各部局で自律的に取り組んでもらいたいので、各部局に人材配置が必要と考えている。情報政策課も伴走支援をする。これまで個人のやりがい任せで運用してきた反省から、制度設計をしっかりと行い、チームで課題に対応する体制を来年度秋頃目途に運用開始したい。若い方に突き動かしてほしいという思いも込めている。

CIO 補佐官：一度に 30 人を集めるのは大変なので、10 人ずつくらい 3 か月サイクルでフォローしていきたいと考えている。他区でもこうした取り組みを実施している。

報告（4）生成 AI 利活用ガイドラインの改定（案）について

事務局：主な改正点は、「(1) 会計年度任用職員の利用を可能とすること」、「(2) 文章だけでなく、画像等についても生成可能とすること」の二つ。画像生成については著作権に抵触するリ

スクがあるので、基本的に庁内利用に限定し、庁外利用はチェック項目を全てクリアした
ものだけ可とした。

CIO 補佐官：ガイドラインを見てチェックする、というのは実際難しいかもしれない。AI 自体に規
制や確認させる方法もあるので、そうした方法も検討したい。

部員：庁内利用はほぼ問題ないが、庁外利用は注意が必要である。

提出された資料	資料 1 - 1 豊島区 DX 推進計画（概要版） 【情報政策課】 資料 1 - 2 豊島区 DX 推進計画（2026-2029） 【情報政策課】 資料 1 - 3 「豊島区 DX 推進計画（2026 - 2029）」の策定 及び計画案に係るパブリックコメントの 実施結果について 【情報政策課】 資料 2 - 1 豊島区情報セキュリティポリシーの改定について 【情報政策課】 資料 2 - 2 （案）豊島区情報セキュリティ基本方針 【情報政策課】 資料 2 - 3 （案）豊島区情報セキュリティ対策基準 【情報政策課】 資料 3 令和 7 年度情報セキュリティ内部監査報告 及び年度の監査計画について 【情報政策課】 資料 4 令和 8 年度 ICT 研修実施計画について 【情報政策課】 資料 5 情報化推進員の見直しと DX アンバサダーの創設について 【DX 推進担当課長】 資料 6 生成 AI 利活用ガイドラインの改定（案）について 【DX 推進担当課長】
---------	--